



## 動力千葉結成 十周年の節目 3・26 三里塚へ

### 農地強奪を許すな

不屈の  
敷地内を  
守り抜こう！

敷地内反対同盟を先頭とした過ぐる八八年の闘いは、政府・空港公団の至上命令としてあった「九〇年二期概成・供用開始プラン」を完全に打ち砕き、敵をして「九一年秋以降に完成」なる下方修正を出さざるを得ないところまでに追込んだ。

しかしながら、「九一年完成」を逆算すると今年中に「用地問題解決」を計らなければならぬというのであり、そのことは強制代執行による農地強奪とイコールということである。

そうしたことに對し、敷地内農民は「農地死守・一切の話し合い拒否・実力闘争」の決意を固めている。昨年来、空港公団は「話し合い」と称して、機動隊の暴力をテコ

に幾度となく敷地内に潜入しようとする画策したのであったが、その都度摘発され、敷地内農民に「話し合う必要はない、今度合う時は代執行だ」と追いかえされているのである。

「迂回して入る」「脱走隊を走らせる」

こうした不屈の反対同盟に比して、脱落派は今日、「公団との公開討論」なる話し合い路線へとズッポリはまりこみ、公団の良きパートナーとして反対同盟の闘いに敵対している。

話し合い路線とは何か？それは、空港を作ることとを絶対的な前提として行われ、るのであり、代替地等を得ることをはじめ「闘いを棄て、農地・家屋を手放す」ための条件交渉のことなのである。

三里塚闘争が何故、二年の長きにわたって闘われ、何故多くの労働者・学生が今もなお結集して闘っているのか。それは三里塚闘争が「代償を求めない」闘いであるか

らである。脱落派の話し合い策動を断固粉碎しよう！

強制代執行  
＝農地強奪を  
許さない！

政府・空港公団は、県土地収用委員の空白状況にいらだち、一日も早い収用委再任命を千葉県当局に強く求めている。しかも仮に再任命に失敗した場合でも、運輸大臣による強権発動＝強制代執行さえ考えているのである。

強制代執行による農地強奪・家屋破壊・農民追出しを絶対に許してはならない。強制代執行を打ち砕く大結集をかちとろう！

動力千葉  
一〇周年を  
三里塚決起  
で飾ろう！

動力千葉が「三里塚と一線を画する」という動労革マルの反動方針に反対し、労農連帯を選択し、分離・独立してからちようど十年目。三・二六は、大きな節目の闘いとして、動力千葉の「これからの十年」の闘いに向けた門出の闘いである。全組合員の総力決起で三・二六三里塚へ！

- 今後の予定
- 3月8日(水) 木戸地労委 集合9時30分 本千葉駅
  - 3月9日(木) 全国争議団 交流集会 中央労政会館 18時
  - 3月13日(月) 第一波スト 公労法公利 集合13時 千葉地裁
  - 3月14日(火) 全金本山労組 仙台現地全国 総決起闘争 仙台現地
  - 3月18日(土) 才20回 定期委員会 教育会館 13時
  - サークル協 拡大運営委